西予いよ

議会だより

2006年
3月
定例会

第8号

2006. 4.20発行



桜盛り　野福峠

Seiyo Assembly

Contents

一般会計予算　2〜3
質疑　4
議員定数等調査特別委員会報告　5
一般質問　6〜11
リレー議員紹介　12
委員会審査報告　13〜15

特集
議員は何人必要ですか
5

発行／西予市議会　編集／議会だより編集委員会　発行責任者／兵頭　勇　〒797-0015 西予市宇和町卯之町三丁目434-1 TEL0894-62-6413

西予議会だより　第8号　http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html　E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

西予市の風景



明間の河畔の桜

わが町の取って置きのスポット



竜沢寺花まつり（城川）

まだまだあるぞ 地域に残る小さな行事

お伊勢踊り

三瓶町二及地区

伊勢踊りは伊勢神宮の神威をたたえる歌詞を謡い、神前で踊ったことに由来します。江戸時代中頃、阿波、土佐を経て、南予に入ったといわれ、藩の奨励のもと、「お伊勢踊」の名で各地に拡がりました。

主として「二月入り」に地域の無病息災・家々の繁盛を祈願する踊りから、日清・日露戦争より、戦勝祈願・武運長久の祈願が加わりました。太平洋戦争後は、次第に衰退していきましたが、この二及地区のものは地域住民の協力によって、往時のものが保存伝承されています。旧三瓶町時代より無形民俗文化財に指定され、毎年4月10日前後の日曜日に三瓶北公民館で踊っています。



がんばる編集委員

福岡県行橋市議会、西予市へ

議会だよりの視察研修に行橋市議会の議長をはじめとする一行9名が来西されました。行橋市は九州北部の人口7万2千人、議員定数24名の町で、すでに議会だよりも83号まで発行されていました。

議会だよりについては、西予市は編集委員が中心となって作成しているのに対して、行橋市は事務局が主に編集しているとのことで、議員の関わり方の違いなどを感じました。また、予算は西予市2万部発行で約百万円に対し、行橋市は2万5千部発行で三百万円という違いなど今後の検討課題もできました。

さらに、西予市議会議員が議会だよりの制作費として議員一人月2千円を拠出しているという方式について、なかなか真似できないと感心されていました。

研修終了後、宇和文化の里の開明学校を訪問され、明治の授業やおぼろ月夜、荒城の月など市民とコーラスして交流をはかり、西予市を後にされました。



開明学校にて



行橋市視察、来庁

編集後記

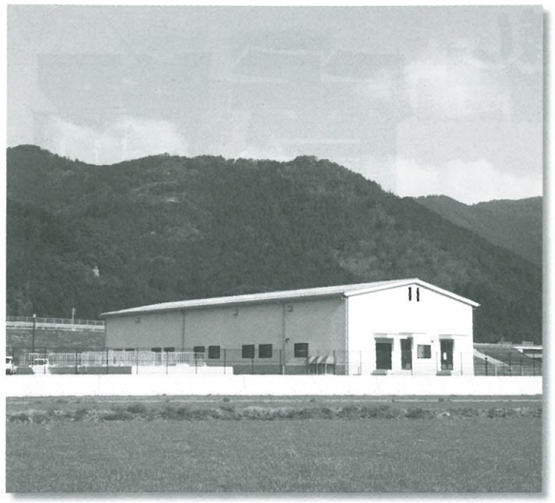
西予市議会が発足して早いもので3年目を迎え、4年間の議員任期の丁度折り返しです。編集委員は1年で交代するので、次回からは新しいメンバーで議会だよりを作成します。

この1年私も委員長として4回発行しましたが、西予市議会だよりのよいところは、議員全員が制作に一致協力するということです。一部の人で作り上げるのでなく、リレー議員紹介などに関わることにより、みんなで作り上げた議会だよりができあがりました。

これからも様々な工夫を重ね、少しでも多くの方に親しまれる議会だよりをなって欲しいと思います。（き）

編集委員

◎委員長　松山　清
○副委員長　鍵原　芳和
委員　田中　剛
宇都宮明宏
元親　孝志
亀井　秀男
浅野　忠昭
菊地ミスギ



整備中の宇和水道施設ポンプ場（明石地区）

社会基盤 生活環境の整備

道路新設改良で、宇和地区13路線・野村地区10路線・城川地区5路線・三瓶地区5路線の改良工事費 9億8千500万円

三瓶中心市街地街路整備事業費 8千300万円

明浜シーサイドサンパーク交流施設整備事業費 6千720万円

ほか、河川改修・都市下水道整備費の計上、公共下水道事業の建設費や償還金に充てるための繰出金の計上

消防関係では救急自動車1台、ポンプ自動車1台、小型動力付積載車6台の導入と耐震性貯水槽や渓筋・遊子川分団詰所整備費 1億4千207万円

法制定により本年度中に策定が義務付けられている「国民保護計画書」の作成経費 336万円

教育・文化の振興

児童海外派遣事業、科学教室の実施、障害児のための学校生活支援員の配置。

施設整備では、

魚成小学校改築事業 4億7千582万円（累計7億5千百59万円の予定）

三瓶中学校体育館改築設計委託料 800万円

スポーツ立市構想樹立のための策定費 160万円

以上が一般会計の概要ですが、国民健康保険特別会計ほか9特別会計と上水道事業、病院事業ならびに野村介護老人保健施設事業の公営企業会計を合わせた。

平成18年度全会計予算額は493億6千493万円（対前年比22億9千404万円の減額・△4.4%）となっています。



魚成小学校建築現場

陳情

■新天神橋の歩道建設を求める陳情について……採択

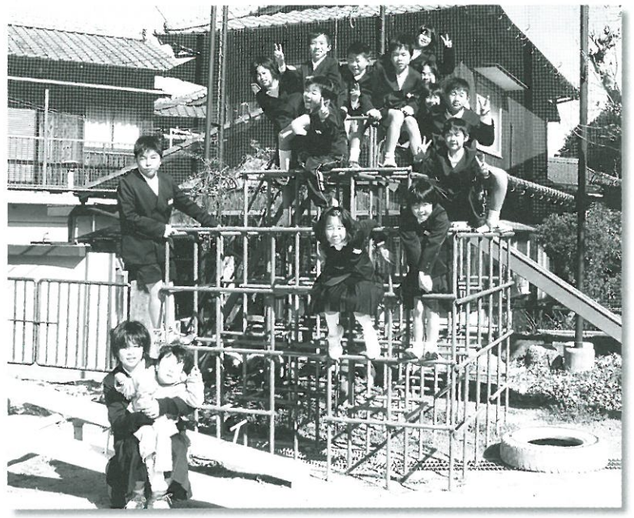
■野村高等学校横林分校・渓筋分校記念碑建立補助金を求める陳情について……不採択

■精神障害者小規模作業所「たんぽぽ工房」設置主体に関する陳情について……採択

■「違法伐採問題への取組みの強化を求める意見書」の提出を求める陳情について……採択

議会日程 3月

8	(水)	本会議（開会）
9	(木)	本会議（一般質問）
10	(金)	本会議（一般質問、質疑、即決議案採決及び委員会付託）
11	(土)	休会
12	(日)	休会
13	(月)	常任委員会
14	(火)	常任委員会
15	(水)	常任委員会
16	(木)	常任委員会
17	(金)	休会
18	(土)	休会
19	(日)	休会
20	(月)	休会
21	(火)	休会
22	(水)	休会
23	(木)	休会
24	(金)	本会議（委員長報告、質疑・討論・採決、閉会）



未来へ翔け！（下泊小の全生徒）

3月8日から24日までの17日間、第一回定例会が開催されました。一般会計予算ほか10特別会計予算、上水道、病院事業、野村介護老人保健施設事業予算をはじめ、条例改正・指定管理者の指定など、114議案を審査しました。前年度につづき国の「三位一体の改革」による影響で、地方交付税・国庫補助金等が大幅に削減される見込みで、極めて深刻な予算不足が生じ、早期退職者制度や特別職の給与、議員報酬の一部カット、一般職員の諸手当の見直し等による人件費の削減や各種団体への補助金の見直し、普通建設事業の削減等により極めて厳しい超緊縮型の予算となりました。

18年度一般会計は超緊縮型予算

一般会計 236億1,000万円

将来像 未来へ輝く 夢人ふれあい 西予

平成18年度の当初予算は、限られた財源を必要な事業に重点的・効率的に配分し、市民サービスにこたえることのできる予算、市行財政計画の目標に近づける予算、市の将来像「未来へ輝くゆめ・ひと・ふれあい西予」の実現を目指す予算で、行政、議会が一丸となって地域づくりに取り組みます。

行政の効率化とくらしの充実

行政評価システムの構築費用 590万円

庁舎建設の調査・研究費 103万円

愛媛県地方税滞納整理機構への負担金 550万円

コミュニティ施設整備では野村町の松渓下コミュニティセンター・日の地手都合集会所の建設事業費を計上

保健福祉・衛生の充実

宇和ひまわりの郷施設整備補助金 590万円

宇和保育園用地購入費 4千654万円

三瓶町特別養護老人ホーム「かめの杜」への建設事業補助金 9千818万円

ほか、子育てを支援する地域子育て支援センター事業費、延長保育の支援費等を計上

市民の健康づくりのための健康診断や健康づくりセミナー経費、市民税の20%にあたる年間6億円の莫大なごみ処分費を市民総ぐるみでごみの減量化「一億円の削減」への取り組みや宇和清掃センターの解体、西部及び東部衛生センターのし尿処理施設の更新・集約の検討を行うこととしている。

宇和町上水道第四次拡張事業の出資金 1億2千800万円

合併浄化槽設置費補助金 4千618万円

産業の振興

基幹産業である農業振興のため、みかんの改植や樹園地の整備費の計上

耕種作物共同利用施設整備事業補助金（城川地域） 千500万円

新山振特別対策事業によるきゅうり選果機設置事業補助金（野村地域） 9千750万円

中山間地域総合整備事業負担金 1億5千651万円

後継者住宅用地土地造成費 747万円

林業振興のための市産木造住宅建設促進事業補助金 千500万円

間伐材出荷促進対策事業補助金 千360万円

三瓶町活魚センター整備補助金 7千63万円

明浜・三瓶魚礁整備事業費 5千295万円

商工業振興のための中小企業振興貸付金 4千300万円



二及マリーナ予定地

厳しい財政～質疑も厳し 質疑


農業後継者住宅（狩江地区）

基本構想について

問 少子高齢化は西予市の基本構想より進むのではないか

答 10年計画だが実施計画の中でローリング方式により対応していきます。

農業後継者住宅

問 農業後継者住宅の家賃が一般住宅並みでは高くないか。松山の学生住宅では敷金なしという例もあるが優遇策の検討はないか

答 第一次産業のみならず全体が厳しい状況で家賃の基準の例外は作るべきではない。原則的には1人1戸だが、2人で住むのも可能です。

理事者が指定管理者？

問 指定管理者は効率的な経営のためには理事者が代表者にならないのがよいのでは

答 現在は代表者になっているが、今後の総会で説明をして交代したい。また、助役・収入役も代表者になるべきでない。

入札は適正執行か

問 GIS（地理情報システム）ソフト開発保守委託料は、入札減で1千620万円減となっているが、予定価格は適正か。また、今後の保守管理は随意契約と単年契約のどちらにするのか

答 予定価格は適正であり業者の努力による減額だと考えます。今後の保守管理は入札により選定します。

生活交通バス事業

問 生活交通バス事業は約5千万円の補正だが来年以降も同額必要になるのか。全体の交通体系の検討の経過は

答 補正の約5千万円は、合併に伴う県補助が17年度からなくなったため増額になりました。来年度以降も5千万円以上になることが予想されます。総合交通システムは、企画調整課をはじめ関係4課で検討しているが、その結果、野村地区で福祉バス・代替バスを運行しています。また、宇和・城川間の直通便も宇和島バスに依頼し、4月から朝晩2便の運行が開始されます。今後においても、検討を重ねながら市民に親しまれるバスを目指します。

西予市産材促進

問 西予市産材木造住宅建設促進事業補助金の2千10万円減額の分析と対象基準を緩和の検討は

答 実質6月からの稼働で旧城川・野村に同様の事業があったため今年は23件の利用であります。基準の見直しは今後の検討課題とします。

ニーズかウォンツか

問 市長はニーズ（必要）とウォンツ（欲しい）の見極めが大事と言われるが、ニーズと判断して始めた事業が状況の変化によりウォンツと思われる時には事業を打ち切る英断はあるのか

答 行政はニーズに答えるために行うものでその判断時期は契約時と考えるが、将来展望がない時には判断を下さなければならないこともあるかもしれない。

農業費大幅削減

問 農業振興費の大幅減の内容と今後の調査研究に対する考え方は

答 大幅減の内訳は昨年度の三瓶の光センサー・城川のトマト選果機・城川加工センター・明浜の後継者住宅等大型事業によるものです。今後の調査研究は西予市の持っている豊富な潜在的資源の掘り起こしと周年販売体制の確立が大切です。

図書館民営化に

問 各総合支所の空室を利用した図書館のあり方と公立幼稚園・保育園の民営化は

答 図書館のあり方や公立幼稚園・保育園の民営化はお互い研究し前向きに検討していきたい。その前に図書館の利用時間延長に取り組みます。


管理運営が問われる公立図書館

特集 市議会議員定数等調査特別委員会

議員は何人必要ですか 大選挙区それとも小選挙区

特別委員会設置

市議会では、次回の改選期に向けて、選挙区制の問題と議員定数について、調査研究を行うため16名の議員で構成する『市議会議員定数等調査特別委員会』を設置しました。

第1回委員会報告

平成18年1月24日に第1回目の委員会を開催いたしました。内容については、委員会の決定までのスケジュールについてと、県内の他市の調査日程について意見交換を行いました。

委員会視察報告

2月14日に、伊予市と今治市を研修。それぞれの市に事前に質問事項を送って、それに基づいて答弁をいただくことにしました。

伊予市（1市2町の合併）の合併後の選挙は、法定定数26名に対して22名で実施。選挙区制については、西予市と同様旧町単位の小選挙区で実施。次回の選挙については、大選挙区制で、定数等についてはさらに見直しもあるとのことでした。とにかく今回の合併は、行財政改革が基本であるという姿勢を貫いたということでした。

今治市は、1市11町村で合併し、全国で3番目に多い合併。人口18万人の新市が誕生し合併時の選挙は、法定定数34名に対して、34名で全市1選挙区で実施。合併前の議員定数188名が34名に削減。その結果4億7千万円の人件費の削減になったということでした。選挙結果は1町1村に議員が1人もいなくなったということでした。選挙制度、議員定数については当然賛否両論あったが、『合併のメリットは議員削減』を重視したということでした。


研修参加議員（今治市）

第2回委員会報告

先の視察研修を踏まえて、各委員の意見を聞くために、第2回目の委員会を開催しました。以下は各委員の意見を要約してまとめたものです。

■両市とも合併特例を使わず、厳しい取り組みをされてきたことに驚いた。西予市も見習うべきと思った。

■財政事情、人件費削減を根本に掲げ、定数を低く設定されているのに驚いた。今後他市の模範となるような定数、選挙区を考えなければと感じた。

■西予市も市民のことを第一に考えて行動しなければいけないと強く感じた。

■議員自身の身を守るのではなく、住民の自治が出来るような立場で合併を行ったことが評価できた。

■地元に議員がいないと地元の声が上がっていかないと思っていたが、今までのような地元中心の議員でいいのか、西予市全体のことを考える議員がいいのか、有権者の皆様と今後一緒になって考えて行きたい。

■旧町に議員がいなくなって、住民の皆さんが本当に納得されるのか。迂闊に大選挙区がいいとはいえない気がする。

■全市1区にして議員が不在の町がでる可能性があるならば、地域審議会のあり方をもう一度考えなければならない。

■財政の事情によって議員定数を決めるというのでは説得力がない。1年をかけて議員の定数はそもそも何を根拠に算出されるのが正しいのか。一緒に検討して行きたい。



一般質問

元親　孝志　議員



問　国家財政が待ったなしの段階に来ている今、国が財政改革を本格的に行えば、西予市の財政は極めて厳しい状況になると思えるが、市長は財政見通しをどのように見ているのか伺いたい。

市長　現段階での財政計画（見通し）は、昨年提出した資料の数値が最も現実性に近いものと認識しております。今後とも国の動向を早くキャッチし、財政見通しを立ててまいりたいと考えております。

町づくり条例制定は

問　新しい国が誕生すれば先ず取り掛かるのが憲法の制定であるが、西予市は合併をして2年が経過するが、未だ市民憲章も自治基本条例（町づくり条例）も出来ていない。合併という新しい枠組みが出来て、この町が何を目指して、今後どのような町づくりを進めていくのか、市民に分かる形を示さなければならない。西予市はスタートに立ってどれだけのものが作れるか。この出来如何がこれからの西予市を決めるのではないかと思うが、市長の考えを伺いたい。

西予市の財政見通しを問う
国の動向を見極め敏速に対応

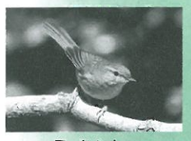
市長　市民憲章については、合併協議の中で、「合併後制定する」ことで承認されておりますので、西予市に最も相応しく、誰でもが理解でき実践できる市民に優しい憲章を検討してまいりたいと考えています。また自治基本条例については行政・市民の協働による町づくりを進めていく上では、地方自治の本旨にのっとり、将来に亘り共有すべき考えや自治を実現していくための仕組みを自ら定めることも重要でありますので、行政手法の選択肢としてさらに研究してまいりたいと考えております。



ほたる



あじ



うぐいす



ぶな



れんげ

市のシンボル

リーダー育成を

問　少子高齢化が進む中で、今、最も心配されることは、地域のリーダーが不在になっていることである。人づくりは息の長い取り組みであり、西予市においても、人づくりに対して真剣に取り組むべきであると思うが、市長の考えを伺いたい。

市長　今後いろいろな外郭団体が主催する、地域おこし研究会や町づくり活動事業、講師等派遣事業、アドバイザー事業等がございますので、これらも活用しながら、また行政の各事業課が総合的な連絡調整を行って、経営や地域づくりの優秀なリーダー養成に努めてまいりたいと考えております。



何年がまんせないけんの？
どうする!? 三位一体改革、西予市を直撃!!

山本　安男　議員



問　下松葉団地は、3棟とも3階建てでありますが、階段に手すりがつけられておりません。身障者の方も入居されていますが、3階までの上り下りに大変苦慮されている。安心安全の公営住宅へ改善すべきではないか伺いたい。

建設部長　市営住宅は住民の福祉を増進する目的をもって、供給される施設であります。下松葉団地は、昭和53年から55年に建設され、階段9ヶ所は手すりがすべて設置されていない現状です。入居者の中で65歳以上の方が15名、又歩行に支障を来たしている方が3階に入居されていますので、手すり等の整備が必要であると認識しております。平成18年度より入居者の方と協議の上急を要する場所から整備を行い、安全確保に努めて参ります。

公営住宅階段に手すりの設置を
入居者と協議の上設置



手すり設置が望まれる下松葉団地

古代ロマンの里については

問　古代ロマンの里については産官学が共同で発掘調査が進められている。古代文化の足跡をたどり、今ここに日の目を見る古代ロマンの里が開かれる時が来た事に胸の高鳴りを覚える。今日までの古代ロマンの里の経緯について伺いたい。

教育部長　平成7年の赤坂遺跡の調査以来、旧宇和町の弥生時代並びに古墳時代の主な遺跡を愛媛大学考古学研究室の協力で調査して参りました。特に古代ロマンの里構想では古墳時代の笠置峠古墳・小森古墳・岩木赤坂古墳・ナルタキ古墳などが重要な拠点と位置づけられ、このうち笠置峠古墳とナルタキ古墳の発掘調査が今年度までに終了しました。その後の整理研究も進められており古代の宇和盆地が南予の中心的な役割を果たした事が判明しています。県の補助を受けて笠置峠古墳の竪穴式居室の複製を作るなど整備に取り組んでいる状況です。又、出土品の展示など学習拠点となる考古館の建設予定地については現在委員会と行政内部で検討を重ねている所であります。



古代ロマンの里・小森古墳

地域間格差は格差是正に取り組む



浅野　豊重　議員

問　合併して満2年を迎え、西予市は平等・対等との考えは、当然のことである。しかし、広大な面積と様々な気候・風土・歴史・文化をもつ市内全域を今すぐ、同一の生活環境にするのは難しい。となると、平等の定義をどこに置くかである。平等とは、住む人の満足度で計るべきであると思う。

例えば、水道料金が月額2万円の地域と、月額5千円の地域があるとする。これは不平等である。

しかし、前者の管理はすべてを公費で賄い、後者は地区民の労力で行っている。その場合は公費と労力を相殺すれば、満足・不満足度は平等である。

しかし行政は、この状態を放置せず、一日も早く改善し、名実ともに平等にすべきであると考えるが伺いたい。

市長　平等の定義は仰せの通りであり、市民の皆様のご理解をお願いしたい。水道をはじめ、地域間の格差については可能な限り早期に改善を図りたい。



0歳児保育（ひまわり保育園）

国体誘致どうする ソフトボール・相撲を誘致



岡山　清秋　議員

問　愛媛県で2017年に愛媛国体が決定しました。西予市にも選手はもちろん、チーム、指導者の育成を推進し、ソフトボールや相撲、柔道等の種目を誘致する考えはあるのか伺いたい。

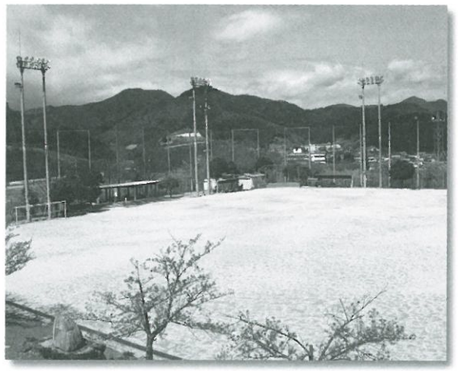
市長　国体誘致種目につきましては、愛媛県が手づくり国体を提唱されておりますように、西予市としても、現状のスポーツ施設の有効利用と選手、役員等の派遣人数に対する宿泊施設等も考慮して誘致種目の選定をしたいと考えています。

ソフトボールにつきまして、誘致の施設基準は、規定の競技場が8面（2会場以上でも可能）必要で、選手、役員の宿泊人数は864名の確保が必要となります。

相撲の場合は、規定の競技場1会場で選手、役員の宿泊人数は611名となっております。

西予市内の現有施設では、乙亥会館の相撲施設が国体種目の選定基準を満たしていますので、相撲競技とソフトボール競技を誘致したいと考えています。

その他の種目につきましては、近隣市町村の動向に配慮しながら協力体制を整えていきたいと思います。



国体会場としたい宇和多目的グラウンド

医療費削減どうする 元気だ！せいよ策定



浅野　忠昭　議員

問　医療と健康づくりについて市の施策と指導方針について伺いたい。

福祉部長　国民健康保険制度については被保険者の高齢化や低所得者層の増加などで厳しい現状にあります。また老人医療におきましても今後の医療費の伸びによっては保険税率の引き上げもやむを得ない状況であります。医療費を抑制する手段として、西予市健康づくり計画2014「元気だせいよ」を策定し自分の健康は自分で守るという健康づくりスローガンを発表いたしました。今後の取り組みについては市長部局、教育部局との連携も深め市民生活課、健康づくり推進課、生涯学習課、文化体育振興課の4つの課が連携をとり事業を推進していきたいと思います。



西予市の健康づくり計画

いつまでハンコ

問　事務決裁の改善について伺いたい。

総務部長　事務決裁規定は文書管理システムを導入すれば改善できるが電算基盤の導入に4千万円以上の経費がかかるということで断念しました。今後は事務決裁規程も含め、可能な事務から本庁一本化へ移行しようと思います。

結婚と子育て支援を

問　結婚問題と少子化は表裏一体である。市としても努力されてはいるが、成果が見えない。その要因は多々考えられるが、私は、結婚を単なる男女の結びつきと勘違いしているものがありはしないか心配である。

結婚は人間社会を維持発展させ、社会構成の基盤をつくるものである。

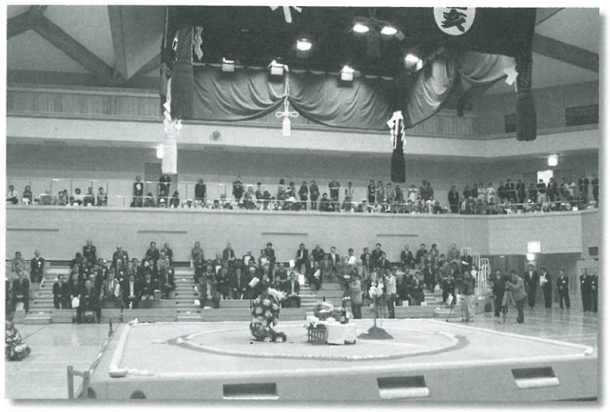
そこで、結婚をして子育てをする家庭を支援するために「子育て支援税」を創設してはと思う。



ひまわり保育園の子供たち（三瓶）

福祉部長　少子化の原因は多々あると思うが、未婚・晩婚が大きな要因である。西予市も「西予市次世代育成支援行動計画」など色々な角度で結婚・子育てを支援しています。

「子育て支援税」の創設をとのことでありますが、市民全体の理解が必要です。子育て支援は一自治体の問題ではないが、市独自のアイデアも必要だと考えます。



乙亥会館に相撲誘致を

人材どう育てる

問　人づくりについて伺いたい。

教育部長　誰もが、いつでも、どこでも、主体的に学ぶことのできる社会をつくり、学習者の支援も含め市内28の公民館が連携をとり、個人学習や、自主グループ活動を支援していこうと思います。

夢は実現か

問　地域の計画づくりについて伺いたい。



宇和の桜まつり（公民館事業）

企画課長　計画策定にあたっては、市政懇談会や地域審議会、まちづくり懇談会、アンケート等により意見提言をいただいたのを基礎資料として、西予市総合計画「夢創造せいよ21」を策定しました。今後はこの総合計画の基本理念に基づいてまちづくりを進めていこうと思います。



待たれる電子事務決裁

雇用と委託料はどうなる 減額もありうる



鍵原　芳和　議員

問 第三セクターが管理運営する施設は地域活性化対策として公共的意義が大きく、本来、赤字資質の見込まれる施設や事業が主である。指定管理者制度によって地域雇用に対する影響と今後の委託料についてどう対処されるのか伺いたい。

総務部長 今後、社会情勢の変化や運営状況によっては民間移譲や休止廃止という厳しい選択肢もあります。殆んどの施設で非公募により現行の受託者を指定したことから雇用の問題は生じていません。委託料については制度導入初年度でもあり従来の委託料を考えているが、今後の運営状況によっては委託料の減額も検討します。更なる経費削減、効率的な運営をすすめていきます。

集落再編どうする

問 過疎・高齢化が深刻化する地域の集落再編をどう考えるか。



過疎の影響か、空家も見られる

市長 集落の生活環境の整備とともにその存続と地域振興を図る所存であります。現状は土地への愛着、経済的問題、公の財産等、複雑な住民感情もあり、住民意思を尊重した上で再編を考えなければなりませんが、実現させるのは大変厳しいと考えます。地域住民の英知を結集し、地域の活力を取り戻すための定住促進を図ってまいります。

文書館建設は

問 文書館の整備について伺いたい。

総務部長 旧町文書が各総合支所にどのように保管されているかを調査中であり、作業は平成19年度に終わります。その後は、各総合支所の空き部屋や廃校等の利用を検討するが本庁舎の建設と合わせて長期的に考えたい。



土居の文書館

総務部長 旧町が合併するまでの文書、約4万点の保存でこれ以上の保存は困難である。平成19年度までに旧5町の支所調査が終了するが、文書の保管場所をどう確保されるのか、西予市文書館システムの建設を含めて今後の整備について伺いたい。

市のシンボルどう活用？ 植樹など、今後検討



坂本　隆重　議員

問 西予市のシンボルとなる、市の花、木、が「レンゲソウ」「ブナ」に決まり、レンゲソウの描かれた町バスも動く宣伝カーとして明るく心を和ます花として、今後全車に対応したらどうか。又、ブナは外国では森の母、保水力では緑のダムとして有名で、各地域へ積極的に植樹をするお考えはあるのか伺いたい。

総務部長 大変ユニークなアイデアで心強く感じます。市所有の全車に描くと多額の費用が伴うので、今後研究いたします。ブナの木の植樹については、保水力、洪水の防止、大気の浄化、水源涵養など公益的機能をもち、野村ダム周辺にはすでにブナが植栽され生育しています。環境の面、自然保護の面から公園や山地など集団的な植樹も検討したいと考えます。



ブナの記念樹（野村町）

農業支援センターの現状はブランド産品を育成する



酒井宇之吉　議員

問 西予市農業支援センターの現状とこれからについて伺いたい。

産業部長 現在、地域特性を活かした魅力ある農業を展開し、各種事業推進の支援に取り組んでおり一定の成果が上がっているところです。特に農業構造改革では、経営所得安定対策を決定し、導入に向けて取り組み強化を図っています。

農業の活性化方針については、栽培見直しや新品種の転換、新たな資源の創出により、市のブランド産品を育成し、販売するため今後も研究に取り組んでいきたいと考えています。

思いはそれぞれ

問 各総合支所の現状について伺いたい。

明浜総合支所長 組織自体のあり方については、様々な角度から検討し、本庁でできること、支所での機能のあり方など、機構改革も含めて進めなければならないと思います。支所存続問題に関しては、時代を先取りし、市民への早期周知、住民へのコンセンサスを得ることが重要だと考えます。

野村総合支所長 組織、団体の統一により市民の交流の輪が広がり、一体感の醸成が進んでいるのを感じています。総合支所方式は当分の間存続すべきと思いますが、今後の本庁舎建設計画の中で、危機管理体制等も考慮に入れ、市民の理解を得た上で結論を出すべきと思います。

城川総合支所長 今からの地域課題の解決には、「地域分権」の考え方を進め、地域の力を高める必要があります。城川では豊かな自然や人情を後世に伝えることを基本理念とし、住民に信頼され、安心して相談していただけるような総合支所でありたいと考えています。



改築が待たれる三瓶総合支所

三瓶総合支所長 住民が望んでいる ことは周辺地域に対するきめ細かな行政の目配りだと考えています。今後、本庁方式への移行も視野に入れて大勢の声を集約した上で、最終的な総合支所のあり方を見極めるのがよいのではないかと思っています。

「宇和川に錦鯉」を

問 農業集落排水施設、下水施設も完備しつつあり、宇和川の河川改修も進み、護岸も整備されてきた。特に卯之町駅うらの河川公園は十分管理されれば市民の憩う絶好の場所となるが宇和川に錦鯉を放流するお考えはあるのか伺いたい。

産業部長 宇和川に錦鯉が悠然と泳ぐ情景を想像するだけで心が和みます。しかし宇和川は肱川上流漁業協同組合の管轄であり、現にアユ、フナ、ウナギについては年間600万円ほどの予算で放流しているとのことで、鑑札を有している者であれば漁が出来ることになっている。錦鯉の放流は観賞用であり、漁業関係者と十分協議し検討していきたい。

結婚祝金をぜひ

問 西予市も合併当時4万7千43人いたが平成18年1月現在では4万6千217人となり1年と10ヶ月で826人の減少となった。しかも高齢化率は現在33・6％となっている。結婚適齢期の人が多いので積極的な対策を打つべきだと思う。結婚祝金50万円を出してはどうか伺いたい。

教育部長 西予市結婚推進委員会が昨年7月に発足し、各町から推進委員48名を選出し結婚を希望する人の登録と情報交換をスタートさせたところです。毎月5日の結婚相談日をもうけ結婚が成立した場合に西予市結婚委員会から担当した委員さんへ3万円支給しております。今後、現体制で成果を見守りたいと考えます。



宇和川に錦鯉を

Relay（リレー）議員紹介



西予の明日を思う

名本　修三　議員

西予市も発足をして2年が過ぎようとしています。2年間を振り返ってみると、今後の西予市の行く先が非常に厳しい状況にある事を再認識させられます。

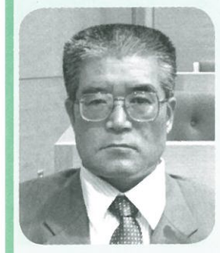
第一に5つの町が合併をした西予市をどのような町にしていくか。理事者はもちろんですが、議会も充分に議論をし検討していかなければなりません。旧5町の特色を生かしながら5つの色を混ぜ合わせて広大な500㎢のキャンパスにどのような西予市を描いていくか、行政に関わる者の責任は重大なものがあります。

次に、合併前後に5つの町で作られた施設の運営をどうするのか。後世につけを残さない為にも市財政負担を最小限に食い止め、自立運営が出来る具体策を実施しなければなりません。

最後に議会議員定数の問題があります。議会の財政負担を少しでも軽くし、なおかつ市民の皆さんの意向が議会に反映させる為にはどのような選挙制度がよいか、定数の問題、選挙区制の問題、残された任期は大変重要かつ将来の西予市の行く先を決定するより責任の重い2年間になると思われます。足元を見つめ、しっかりした議会活動をしてまいりたいと思いますので、市民の皆さんの御協力をお願いします。

私の財産

森川　一義　議員



私は昔から事故や火災の現場に通りかかる事が多くて大事な時には自然に体が動いてしまいます。昭和52年に伊賀上に家屋火災が発生し、おばあさんを助け出すとすぐに天井が落ち、助かりました。柿の豆を取っていた人が8メートル上で木の枝にぶらさがっていたので登って下ろした事もあります。私の家の横の踏切で車が列車に引きずられて、運転をしていた人が車から出られなくなりドアをはずすのに苦労をしました。今では遮断機ができて事故が起きる心配がなくなりました。

平成6年、私が議員になった年に元町長の松本和芳さんが来られて鉄工所の仕事にはマイナスになるが、期待をしているから頑張ってやってくれと色々教えてもらったことを今でも覚えています。

私の財産、それはお金ではありません。遠慮なく意見をしてくれる友人や恩師や先輩などです。

私は議員の仕事は金儲けではなく社会のために具体的な事をやることだと思っています。

吉田松陰の遺書に「国の大事を成功させるためには一度の敗北でくじけず、有志と志を通じ合わせることだ」という言葉があります。

私も西予市が少しずつでも良くなるように他の30人の議員と力を合せていきますので見守っていただきたいと思います。

野球の思い出

沖野　健三　議員



私が野球を覚えたのは小学2年生頃でした。毎日毎日、兄とキャッチボールをしたり、休みになると空地や水がなくなったため池で、ソフトボールをしていました。小学校時代のいい思い出です。

中学校では、母の反対を押し切って野球部に入りましたが、しごきの毎日で、今になって思えば3年間よく頑張ったと思います。高校に入り、野球とは縁を切りたかったのですが、他のスポーツの経験はなく、仕方なく野球部に入りました。やはり高校野球は練習も厳しく、何度か退部しようと思いましたが、何とか3年間続けました。振り返ってみますと中学・高校では野球のいい思い出はなかったようです。

しかし、息子がいい思い出を作ってくれました。息子は、小学2年生から少年野球「宇和フラワー」に入団しました。現在の少年野球は、私たちの時と違って、技術は数段上のように思います。息子が5年生の時、また6年生の時には2回、全国大会に出場しました。大会は、大阪の舞洲というすばらしいグランドで行われます。大変レベルが高く、初戦突破はできなかったが対等に戦い、よき思い出となりました。

現在私は、少年野球の代表をしています。今度は代表として全国大会に出場したいものです。また、母校である宇和高校が甲子園出場することを祈っています。これからも野球で培った根性で、「初心忘るべからず」をモットーに頑張ります。

THE 委員会審査

財政難!? CATV事業,どうする？

総務常任委員会

総務常任委員会では、議案27件、陳情1件を3月13日から16日の4日間、審査しました。委員会での指摘・要望は次の通りです。

◇CATV事業の取組、どうする？

CATV事業は合併協議会で決定された事業であり、全域のブロードバンド化と西予市の一体感のためにも早期に取り組むべきだ。

2011年の地上デジタル波放送切替時の難視聴区域問題など総合的に検討をされたい。

◇団体への補助金・負担金は無駄のないように！

市が負担金を支出する団体は機能がしっかりしているか、意義ある団体であるかを検証する必要がある。また、補助金の交付は、その本質を考え、事情に配慮して、メリハリをつけるべきである。

◇債務負担行為、慎重に！

厳しい財政状況に鑑み、債務負担行為は慎重に対処されたい。

◇職員の能力向上を計り、外注費削減を

計画作成委託料等が計上されているが、職員の能力や専門性を高めるためにも、自らの手で作り上げるべきだ。

◇電算費、高すぎる

電算に関する保守管理費等が高額だ。随意契約、リース契約、データの入力などを精査して、経費の節減に努められたい。

◇農協支所廃止に伴う「行政、金融、郵政の3窓口」の集約を

農協支所は平成19年3月に一部廃止されるので、住民サービスのために公民館に3つの窓口を集約することを行政主導できないか。

◇区長など役員改選時期の統一を

各自治組織や民生団体の役員改選時期の統一、調整をする時期に来ているのではないか。

○陳情第2号「野村高等学校横林分校、渓筋分校記念碑建立補助金を求める陳情について」の審査

財政状況が非常に厳しく、他の記念碑建立を見ても、それに関わる人達がそれぞれの思いを込めて浄財を募り建立しているとの意見等があり、不採択と決しました。

総務 CATV視察研修

倉敷CATV・四国中央市

2月19日と20日に岡山県の株式会社倉敷ケーブルテレビ・玉野市役所、四国中央市役所・四国中央テレビのCATV事業を視察しました。

倉敷ケーブルテレビは第3セクター方式で設立され、玉野市は100万円を出資していました。住宅密集地以外、採算性の観点から民間はサービスを提供しないので、住居がまばらに点在する場合に拠点から「ラスト・ワンマイル」という末端の家庭までの部分を行政が支援し、IRU契約（当事者の同意なしに破棄または終了できない契約）で運営されていました。加入状況については、4市1町で41.4%に当る77,256世帯が加入、CATVの月額利用料は1,995円でした。

また、この事業への玉野市の年間負担は、約900万円程でした。

四国中央市は、合併協議会で新市の一体感を醸成するためには、地域に密着した情報を共有し交流情報の基盤整備が不可欠と考え、CATV分科会を設け取り組んでいました。

市内CATV事業は高速道路を境に南北分け、人口密集地域29,000世帯を第3セクターの「㈱四国中央テレビ」が、山間部中心の4,000世帯を市が事業主体となり、3セクエリアは18年3月開局し、自治体エリアは19年3月の開局を目指していました。

合併前に地域公共ネットワーク事業で市の各公共施設を結んだ光ファイバーケーブルを利用し、また、一部放送の送受信に「えひめCATV」の装置も利用してコストダウンを計っていました。

今回の研修により、西予市のような人口と面積規模の場合は、市が施設・設備を整備し民間が運営する方法が一番理想であることがわかりました。

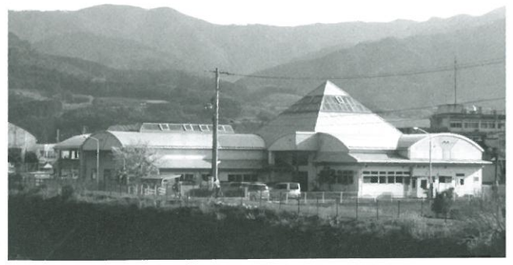


倉敷CATVスタジオ



四国中央市役所ロビー

特老「かめの杜」補助金9千818万円
厚生常任委員会


定員が増える野村保育所

◇条例制定

宇和福祉センター、野村町、三瓶町の各老人憩の家並びに野村高齢者工芸館の各施設を市の直営施設とするための条例制定です。

野村保育所

定員を30名増やすための条例改正です。

敬老祝金

受給対象年齢基準日、9月15日を9月1日に変更するものです。

介護保険法の一部改正

平成18年度から平成20年度の3カ年の収支計画に基づいて、保険料の改正を行うものです。

1号被保険

西予市はグループホームが増え続ける状況であり、保険料を上げなければやっていけない。平成18年度からの3年間の計画では、現在の12施設にプラス2施設までを想定して算定しています。

グループホーム建設

グループホームの設置は、平成18年度から市町村に権限が委譲されます。新規2施設を含めて平成20年度までは14施設を限度としているとの答弁でした。

野村病院

心療内科・皮膚科・麻酔科を増設する条例の改正です。

三瓶介護サービス

特別会計廃止に伴う基金条例の廃止があります。

宇和町の丙種墓地

各地区の墓地であり、公の管理にはそぐわない事から条例を廃止するものです。

指定管理者制度

市所有の各施設の管理運営を指定管理者に委ねるための条例制定がありました。

◇一般会計予算

「平成18年度西予市一般会計予算」について、審査しました。

出産祝い金

第1子3万円、第2子5万円、第3子10万円を贈るものです。

特別養護老人ホーム「かめの杜」

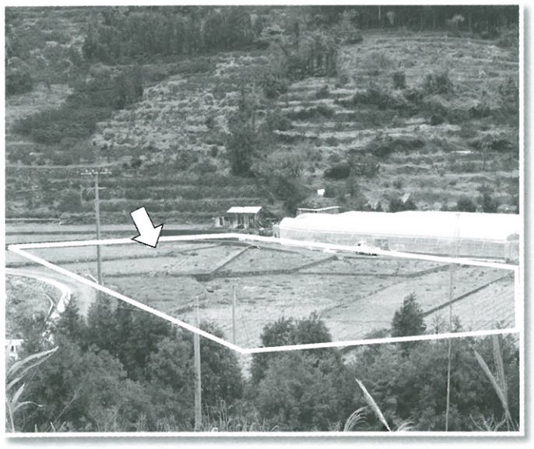
建設補助金9千818万円は、三瓶の特老新設補助です。

生活交通路線巡回バス運営費

野村の福祉バスを6月まで維持することと、宇和の巡回バスの委託料です。巡回バス委託料は、週2回三瓶から城川、さらに明浜へと温泉を巡回するバスであり、30人乗り以下の市有バスを用いて3ヶ月間試行するものです。

民生費

用地購入費については、宇和保育園の用地購入。宇和ひまわりの郷施設整備を行うものです。


かめの杜建設予定地（三瓶町垣生地区）

衛生費

浄化槽設置補助について、各町の割当てが有り、合計で100基であります。

塵芥処理費

ゴミの分別収集処理を進め、約1億円の予算節約を目指します。

国民健康保険特別会計

事業勘定約53億円であるが、国保財調基金からの繰入れが2億8千万円にのぼり、残額は約5千万円と非常に厳しい状況にあります。11診療所の勘定については、交通事情を勘案しながらの統合も考える時が来ているのではないかとの意見がありました。

老人保健特別会計

歳入歳出各69億余りで、前年並みの予算です。

介護保険特別会計

介護保険特別会計は歳入歳出各、約41億8千万円です。

病院事業会計

宇和、野村病院を合わせて約35億円の予算です。両病院ともに地域の中核医療施設として整備されてきましたが、近年の制度変更により、医師不足のため2次救急体制がとれない事態も予想され、まことに深刻な状況です。医師確保に全力を傾注すべきであります。

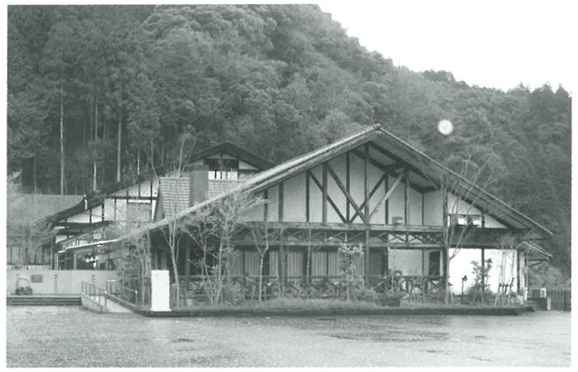
野村介護老人保健施設事業会計

約4億1千700万円の予算ですが、制度変更、入所率の向上を図らなければなりません。

○陳情「精神障害者小規模作業所「たんぽぽ工房」設置主体に関する陳情について」の審査

今年10月より法人格を持たない施設が苦境に立たされ、福祉施設として、今後の対応を考えるべきであり採択としました。

三滝ロッジ指定管理者急げ
産業建設常任委員会


ふるさと交流館と三滝口ッジ

◇後継者住宅 今後の建設計画は？

平成18年度に明浜町田之浜地区で用地買収と用地造成をし、19年度に建設を予定しており、さらに同町俵津地区でも計画があるとのことでした。

◇入居家賃の設定根拠は？

一般住宅における最も安い基準で設定をしているとの答弁でした。Iターンの若者は100万円前後の収入であり、そのうち家賃として年間30万円の支払いは、厳しいとの質疑がありましたが一般住宅との整合もあり、ここだけ特例として安くはできない。家賃設定は相当慎重に決定したもので、現段階ではこの案で運用するが、今後の検討課題としたいとの答弁でした。

第一次産業を取り巻く状況は厳しく、後継者が育ち、気軽に入居できるようにしてほしいとの意見がありました。

◇指定管理者の指定も早急に!?

各施設の指定管理者が順次指定されている中で、城川町の三滝ロッジ、ふるさと交流館が未だ決定していない状況について、今後なるべく早く委託料を提示し、意欲のある経営者が現れるよう努められたいとの要望がありました。1月に閉鎖をして以降、多くのファンから再開を望む声が届いており、当施設は農山村地域の象徴であり、失ってはならないものの一つです。再公募は次の段階とし、まずは手が挙がりかけていた人に再度条件提示をしたいとの答弁でした。

◇補助金の対象、財産区へ拡大を！

間伐材出荷促進対策事業の補助金の対象に財産区有林が含まれないことについては、理事者から財政厳しい折、財産区は特別公共団体であることから、市民への助成を優先したとの答弁でした。昨年まで実施されていた城川町における間伐材の出荷比率が個人が1／3、財産区を含む地区分収林が2／3であり、現実として私有林が少ない現状であり、市内山林の間伐を全体的に推進するという観点から、財産区の出荷分についても含めていただくよう再検討の要望をしました。

以上のほか、西予市産材木材住宅建設促進事業の補助対象部材について、用地対策における未登記案件の早期処理についてなどを審査しました。

○「新天神橋の歩道建設を求める陳情について」の審査

陳情第1号は、現地調査を行った結果、当橋梁は幅員が狭い上、大型車の往来も多く、歩行に危険でした。よって歩道設置は必要であるが財政事情を考慮され、事業に着手されるよう要望しました。

南こうせつピクニックコンサート



家族友達と一緒にピクニック感覚で楽しめる野外コンサートです。当日はみかんのうた発表会や俵津文楽公演・シーカヤック教室・特産品の販売など終日お楽しみ頂けます。

【日　時】
平成18年5月7日(日)　開　場13：30　開　演15：00
※午前11時から入場整理券を配布いたします。

【会　場】
あけはまシーサイド・サンパーク特設会場
※会場は全面芝生の全自由席です。

【料　金】
一般券（一人用）3,000円[当日 3,500円]
団体券（四人用）10,000円[当日12,000円]

【問合せ先】
明浜総合支所産業課　☎(0894)64-1288